

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果の公表

公表日 令和 3年 10月 11日

広島県立福山若草園放課後等デイサービス事業所

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いいない	いいえ	133人/181人 (回収率73%)	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか (利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか)	スタッフの意見：はい 個別活動や小集団活動が十分に行えるよう、スペースを考えて実施しております。予約状況によってはいつも活動する場所の変更をお願いすることもあり、十分な療育に繋がらない場合もあるかと思っております。ご理解、ご協力をいただきながら、今後も施設内外のスペースも活用し、様々な活動に取り組んでいきます。	125	5	0	無回答3 (ご意見) ・外での活動もあると聞いています。子どもも楽しみにしています。等	もう少し活動しやすいスペースや、運動がしやすい場所があれば幅も広がると思います。施設内外のスペースを含めて可能な限り活用しながら、様々な活動に取り組んでいきます。
	2 職員の配置数は適切であるか (職員の配置数や専門性は適切であるか)	スタッフの意見：はい 利用定員数に対する職員数配置以上のスタッフが在籍しています。公認心理師資格を持ったスタッフが対応し、心理師からの視点と技術で、丁寧な支援を心がけています。	123	6	0	無回答4 (ご意見) ・専門的な相談もできるし、ゆとりある対応をとられていると思います。 ・よく分からない。等	公認心理師を配置し、利用希望の方々に対応できるよう努めております。利用される子どもさんへの対応を、心理師からの視点と技術で、丁寧な支援を心がけていきます。また、限られた時間などの枠組みの中ではありますが、専門的な対応ができるように努力してまいります。
	3 事業所の設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	スタッフの意見：はい 当園は、バリアフリー化に対応しております。昨年度、設備の改善点の検討をしていくとお伝えさせていただいていましたが、設備については、昨年秋に療育を実施するブレイルーム、面談室の防音工事を実施させていただきました。今後、より情報が守られた空間の中で共有が行われるようにできたらと考えています。	126	6	0	無回答1 ※特にご意見はありませんでした	引き続き、利用される方々が使いやすい空間と、自己表現や言語化しやすい空間を目指します。
4 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	スタッフの意見：はい 業務内容や全体的な運営等に関してはスタッフ間で話し合い、共有できるようにしています。業務が順調に行われるよう、それぞれがアイデアを出し合いながら進めています。	—	—	—		今後も現状に甘んじることなく、業務がより良く遂行されるよう、スタッフ一同話し合いや共有を重ねていきます。	

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	133人/181人 (回収率73%)	
業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	スタッフの意見：はい 平成30年度より年1回、評価表を用いたアンケートを実施させていただいています。今回で4回目の実施となります。保護者の皆さまにご協力いただいたアンケート結果や、ご意見をスタッフ間で共有し改善に努めていきます。	—	—	—	頂いたご意見を確認し、内容によっては改善を検討する為に、スタッフ間だけでなく園長、副園長にも相談させていただきます。より良い支援につながるよう改善に努めていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	スタッフの意見：はい 福山若草園のホームページ上で公開、また事業所受付カウンターにて書面にしたものを設置しています。昨年より福山市のホームページにも公開されています。	—	—	—	年度ごとに実施しています。今後も同様に取り組んでいきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	スタッフの意見：どちらともいえない 一昨年、福山市による指導(監査)がありました。改善点については、現在も継続して取り組んでおります。 園全体としては、外部による評価を定期的に行っております。	—	—	—	外部評価により業務においての気付きを得ることができました。今後も円滑に事業を運営できるよう、改善に努めてまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	スタッフの意見：どちらともいえない 今年度も新型コロナウイルスにより、外部での研修会には可能な限りリモートでの研修に参加しています。園内部での研修に関しても可能な形で(DVD研修等)実施しております。	—	—	—	これまでと違った研修の形になっていますが、可能な限り、可能な形で研修等に参加し、自己研鑽を積み、各自支援者として向上を目指します。

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いいない	いいえ	133人/181人 (回収率73%)		
適切	9	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか (アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか)	スタッフの意見：はい 定期的に個々の課題評価を行い、担当者と個別支援会議を実施しています。また話し合い、その都度状況に合わせた計画を作成するよう努めています。客観的な分析ができるように引き続き努めていきます。	131	2	0	(ご意見) ・時間を使ってその都度声を掛けてくださり、その時得た情報で対応いただいているので助かります。	保護者の皆さまに定期的に計画書を提示できるよう、早期のタイミングを心がけています。計画書が子どもさんやご家族の皆さんの支えの一つとなりますよう、継続していきます。また定期的に見直しを図りながら、引き続きニーズや課題の把握に努め、個別支援計画に反映できるよう努めると共に、見やすく分かりやすいプランを目指していきたいと思えます。
	10	子どもの適応行動の状況をアセスメントしているか	スタッフの意見：はい 評価や見立てが十分できているかは日々悩みどころですが、できるように努めていきます。	—	—	—		子どもさんたちの状態や状況に応じて行えるよう、今後も続けていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	スタッフの意見：どちらともいいない 主に個別対応で行っているため、担当者がプログラムを組んでいますが、グループ等療育時は、子どもたちの特性に合ったプログラムを提供できるよう、担当者同士で事前に話し合い立案しています。療育体制によって取り組み方に違いがあるのでどちらともいえません。	—	—	—		今後も同様の形で提供できるよう、実施していきます。
	12	活動に関して、本人のニーズにあった支援がなされているか	スタッフの意見：はい 事業所の支援方針としては、保護者さんのニーズと同様に子どもさんのニーズを把握し、子どもさんが主体性を持って取り組めるようにと考え、支援を実施しています。 また、本人の本来のニーズに対応していけるよう、日々振り返りながら支援を展開していきたいと思えます。	127	5	0	無回答1 (ご意見) ・本人の希望の遊び、やりたいことがメインになっているが、情緒が落ち着くことに繋がっていけばよいと思えます。 ・まだ始めたばかりでわかりません。	その時々々の状況を見て、ご本人自身にも意見を求めながら、子どもさんご本人の状況や状態に合った支援を提供できるよう努めています。合わせて、状況の変化に応じて、子どもさんに主体性を置き、話し合う機会を設けながら、ニーズに合った支援が継続できるようにしていきます。

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	133人/181人 (回収率73%)	
な 支 援 の 提 供	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動をを適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	スタッフの意見：はい 個々のニーズや状況に応じて個別あるいは小集団等の療育を組み合わせしており、計画書にも記載し反映するように努めています。	—	—	—	今後同様の取り組みをしていきます。
	14	支援開始前には職員間で適宜打合せをし、支援の内容について確認しているか	スタッフの意見：どちらともいえない 個別支援に関しては必ずということはありませんが、担当者と児童発達支援管理責任者でできる範囲で共有しています。また個別支援会議の実施を通して、内容や状況を共有しています。グループ療育に関しては、担当者同士で事前打ち合わせを必ず行うようにしています。	—	—	—	個別支援の際でも必要に応じて担当者と児童発達支援管理責任者の間で打合せを行ったり、個別支援会議時により状況の把握ができるよう共有を図るよう努めていきます。また医療とも連携していますので、主治医の考える方針も確認しながら進めています。
	15	支援終了後には、職員間で適宜振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	スタッフの意見：どちらともいえない 14と同様で個別支援終了後に、ケースに応じて子どもさんの療育時の様子や状況を報告してもらい共有しています。しかし個別支援に関しては全ケース毎回必ずというわけではないので、どちらともいえません。グループ療育時は毎回振り返りを実施しています。	—	—	—	共有を図ることで、子どもさんの新たな気付きや課題を見立てる機会にもなる為、今後も個別療育は可能な限り行っていきます。またグループ療育後は積極的に行っていきます。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	スタッフの意見：はい 日々の療育の記録は充分ではないかもしれませんが、出来る限り正確に記録できるように心がけています。同時に検証・改善につなげられるよう意味のある記録がとれるように意識しています。	—	—	—	「現状評価」の通り、正確な記録の徹底を心がけ、記録を通して振り返り次の支援につなげていけるように努めていきます。

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	133人/181人 (回収率73%)	
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	スタッフの意見：はい 面接や療育時の相談等、保護者さんから様子を伺い状況把握に努めるとともに、担当者から療育時の子どもさんの様子等を伺います。計画書の見直しは基本半年毎に利用児童全員に行っております。	—	—	—	状況確認を定期的に行いながら、継続して計画書に反映できるようにしていきます。
関係機関 や保護者	18	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	スタッフの意見：はい サービス担当者会議の開催がある際は、内外部等にも可能な限り参加するように努めています。また、相談支援事業所との連携も同様に行うようにしています。	—	—	—	支援が円滑に進められるよう、ケースの状況把握に努め、支援者間でスムーズに情報提供や収集ができるようにしていきます。
	19	学校との情報共有を適切に行っているか	スタッフの意見：どちらともいえない 保護者さんの要望により、可能な限り学校連携という形で実施しています。その際は、学校側と共通認識を持ち、子どもさんのよりよい支援を共に考えていけるよう努めています。	—	—	—	学校生活等で困り感がある方など、連携を希望される場合はスタッフまでご相談ください。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	スタッフの意見：はい 医療的ケアが必要な子どもさんの利用はありませんが、服薬等されている方については、利用開始前の事前面談時などに保護者の方に確認させていただくと共に、必要に応じて主治医とカンファレンスを通じて情報共有に努めるようにしています。	—	—	—	子どもさんの成長や状況により、医療的ケアやサポートを行う状況にも変化があると思います。引き続き保護者の方と家庭や学校等の様子を確認し、必要に応じて主治医に繋げる体制は継続し、子どもさんが生活が送りやすいようにサポートしていきたいと思っています。
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	スタッフの意見：どちらともいえない 昨年度は実績はありませんでした。引き続き、必要なケースには情報提供をさせていただきたいと思っています。	—	—	—	ケース状況や対象児童がいる場合は、障害福祉サービス事業所の要望に応じて提供していきたいと思っています。

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いいない	いいえ	133人/181人 (回収率73%)	
との連携	22 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	スタッフの意見：どちらともいいない 他の専門医療機関の直接的な連携は少ないかと思いますが、当事業所が医療機関に属している為、主治医との連携が可能であり、カンファレンス等を通して共有を図っています。	—	—	—	/	専門機関との連携は継続していきたいと思えます。今後も医療と福祉で協力体制が構築されるよう努力していきます。
	23 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	スタッフの意見：はい 福山地区放課後等デイサービス連絡協議会に加盟していますが、今年も新型コロナウイルスの影響により、定例会の開催が実現しておりません。役員間で開催される会議には可能な範囲で参加しています。	—	—	—		事業所間同士、横のつながりを大切にしながら支援のネットワーク作りの機会にしていきたいと思えます。
	24 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	スタッフの意見：はい 希望者を対象にペアレント・トレーニングを実施させていただいています。(年2回程度実施)	—	—	—		個別に対応させていただくだけでなく、トレーニングを通して保護者同士で子どもさんの困り感を共有し、互いに支え合いながら学校や家庭等で保護者さんが子どもさんとの関わりがスムーズになっていくように力添えができればと考えています。ペアレント・トレーニングは定期的で開催していますので、ご興味のある方はスタッフにお声かけください。
25	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか (運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか)	スタッフの意見：はい 契約時に説明させていただいています。デイサービスの事をよく知っていただけるよう丁寧な説明を心がけています。	132	0	0	無回答1 ・分かりやすく説明していただいています。	支援内容やその他で十分な説明ができていないこともあるかもしれませんので、ご不明な点がある際は、いつでもスタッフに声をかけてください。また運営規定など、お知らせに関しては掲示板に貼っておりますので、利用時にご確認ください。

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いいない	いいえ	133人/181人 (回収率73%)	
保護者への説明等 (説明責任等)	26 子どもの発達の状況や課題について支援者と保護者が共通の理解ができているか (日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか)	スタッフの意見：はい ケースによって療育方法も異なるため、担当と利用児のみで情報を共有する方が望ましいケースに関しては、事前に保護者の方に了承をいただいた上で実施させていただいています。共有可能なケースに関しては、保護者の方どのように情報を共有していくことが適切なのかを考えながら対応させてもらっています。共有時はできる限り細やかな助言ができるように努めています。また可能な限り、医療等とも連携を図り、共有していけるよう努めていきます。	128	5	0	(ご意見) ・放デイの先生、Dr. 本人、保護者とのつながりがあり、手厚いと思います。	今後も継続して行う上で保護者の方々のご理解とご協力をいただきながら、取り組んでいきたいと思えます。不安なことや、不明なことがあれば担当者いつでも声をかけてください。
	27 保護者に対しての面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか (保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか)	スタッフの意見：はい 26と共通ではありますが、相談内容が保護者さんと共有した方がよい内容か、子どもさんとの間でのみ共有した方がよい内容かを考えて対応していくようにしています。 また保護者さん同様に、子どもさんからも相談できる関係性を築いていけるよう努力しています。	121	10	1	無回答1 (ご意見) ・相談にのっていただき助かってます。 ・電話等で定期的に相談等ができる機会があればありがたいです。 ・送迎が必要なので、仕事上、どうしても回数を増やすのも難しさがあるが… 他	必要であると考えられるケースについては、相談に適切に応じ、助言や支援ができるように努めていきます。電話による相談では十分に内容を把握できない場合もありますので、可能な限り直接事業所にお越しいただいて相談を受けております。送迎に関しては保護者さんのご協力に感謝しております。子どもさん自身にとって成長につながる為の方法を一番に考え取り組んでいます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
	28 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	スタッフの意見：はい 苦情解決に関しては、契約時に説明させていただいた重要事項説明書に記載し体制を整備しております。またデイの掲示板にも書面でお知らせしています。苦情と判断される案件に関しては、早期対応に努めていきます。	107	21	0	無回答5 (ご意見) ・苦情はありません。 ・苦情を言ったことがないのでわからない。 ・現在までにそのような状況になったことがないため、不明です。等	今後も苦情等を含めたご意見を真摯に受け止めつつ、一層丁寧かつ適切な対応ができるよう、体制整備を継続していきます。

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価			改善目標	
			はい	どちらとも いいない	いいえ		133人/181人 (回収率73%)
29	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達を行うための配慮がなされているか(配慮しているか)	スタッフの意見：はい 26, 27, と共通ではありますが、個々のケースの見立てに添って、適切な配慮が行えるよう努めています。	126	6	0	無回答1 (ご意見) ※特にご意見はありませんでした。	情報伝達が子どもさんにとって有効である場合には、適切な方法と形で対応していきます。子どもさんとの意思の疎通は常にできるような努力を重ねていきたいと思っています。
30	個人情報に十分注意しているか	スタッフの意見：はい 個人情報に関しては、適切な管理ができるよう各自意識しながら努めています。必要最小限の範囲で情報開示の際は、『個人情報使用同意書』に記載されている書面の下、保護者さんに確認を行いながら実施しています。	126	5	0	無回答2 (ご意見) ※特にご意見はありませんでした。	今後も各自情報管理には十分留意しながら取り扱うよう努めていきます。
31	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	スタッフの意見：いいえ 事業所の運営上、地域交流の機会を設けていない為、地域に開かれた運営には至っていません。施設全体の祭りも(年1回実施)新型コロナウイルスの影響で開催が中止になりました。	—	—	—		現況では運営上、行事として盛り込んではいませんが、今後の支援において必要である状況と捉えた場合には、地域交流を含めた支援を展開していきたいと思っています。
32	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか(職員や保護者に周知しているか)	スタッフの意見：はい 契約時に説明を、また事業所受付カウンターにマニュアルファイルを設置し、いつでも閲覧できるようにしています。	116	15	0	無回答2 (ご意見) ・わからないところもあります。 ・最初にあっただけなので、忘れそう。他	現在、コロナ禍とあって、感染症対策による通所利用時のお願いをたくさんしております。利用時にはご協力いただきまして本当にありがとうございます。 また、緊急時にはマニュアルに従い対応していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。不明な点があればスタッフに声をかけてください。

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いいない	いいえ	133人/181人 (回収率73%)	
非常時等の対応	33 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか(行っているか)	スタッフの意見：はい 非常災害時に対応できるよう、火災時や地震・津波を想定した定期的避難訓練を実施しています。実施に合わせて可能な範囲で利用の子どもさんと一緒に訓練を実施させていただいています。利用の頻度や療育内容を考慮したうえで実施しており、その関係もあるため、訓練に参加する機会がなかなかないと感じられるかと思いますが、実施時にはスタッフ間だけでなく子どもさんと一緒に非常時の対応を体験し、振り返る機会を設けられたらと考えています。	89	37	4	無回答3 (ご意見) ・子どもが実施したと話していました。 ・訓練の状況を知らないのどちらともいえない。 ・参加していないのでわかりません。	今後も定期に実施していきたいと思っておりますので、訓練日等の設定をさせていただくタイミングでご利用の機会がありましたらご協力のほどよろしくお願いいたします。
	34 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	スタッフの意見：はい 事業所だけでなく、施設全体の取り組みとして虐待防止委員会の設置・開催、直接処遇対応の職員に向けて、定期的研修会や勉強会を実施しています。今年度は、外来部門と一緒に、グループ討議による研修会を実施いたしました。	—	—	—		虐待に関する取り組みは今後も継続して行っています。また、職員各々が意識して対応していきます。
	35 どのような場合にやむを得ず、身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得ているか	スタッフの意見：はい 身体拘束に関しては、契約時に必要事項として説明するように努めています。福祉サービス制度上において、『身体拘束の適正化』が義務付けられていますので、個別支援計画書にも身体拘束に関する内容を記載しております。	—	—	—		身体拘束を実施する際は、極めて緊急やむを得ない場合においてになります。以外の場面では身体拘束は行わないということをスタッフも徹底していくよう努めています。
	36 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	スタッフの意見：はい 園として医療安全管理委員会を設置しており、ヒヤリハットまたインシデント・アクシデントに関して、事業所内だけでなく施設全体でも該当する事案が発生した際は報告を行い、全体で共有しています。	—	—	—		今後も継続して報告・共有し、取り組みを行っていきます。

区分	チェック項目 ※()は事業所向け文書	スタッフによる現状評価 (実施状況・工夫点等)	保護者の評価			改善目標	
			はい	どちらとも いいない	いいえ		133人/181人 (回収率73%)
満足度	37	子どもは通所を楽しみにしているか	124	9	0	<p>(ご意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用を楽しみにしている。 ・学校の事で色々ある時に、話を聞いていただいて、落ち着いています。 ・学校には行けなくなっているが、デイには行けているのでとても助かっています。少しでも外出したり、他者交流はとても大切なことなので続けていきたい。 ・嫌なことをする所ではないのは分かっているので来ている感じです。 ・すごく楽しみにしていて、本人の癒しの空間なんだと思います。 	<p>通所利用に関してのご意見をありがとうございます。利用が楽しみと感じる時もあれば、自分の課題に向きあうことも多いので、子どもさんにとってはしんどい作業を体験することもあるかと思います。どんな体験でも子どもさんの成長につながっていくための力がつくように支援していくと共に、子どもさんたちにも利用する目的意識を持って来ていただけたらと思います。引き続き、子どもさん自身が成長していくための必要な時間を提供できるように、職員も努力を積んでいきたいと思っています。</p>
	38	事業所の支援に満足しているか				127	6

※保護者向け評価(アンケート)に基づくご意見と、スタッフによるご意見を踏まえた対応(コメント)については、事業所受付カウンターにてファイルにしたものを設置していますので、そちらの方でもご確認ください。